

懸け橋

第13号 2019年4月

船橋市在宅医療支援拠点ふなぼーと

「ふなぼーと」と船橋在宅医ネット

船橋市医師会 副会長

在宅医療担当 中村 順哉



今年で平成が終わり、元号が新しく改元(令和と決定)され、この「懸け橋」が平成最後の発行になるものと思われます。早いもので船橋市在宅医療支援拠点が平成27年10月に開設されてから、3年半が経ちました。その事業概要と要旨は「適切な医療・介護サービスが切れ目なく提供され、市民が住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう、そのために必要な環境を整えることを目的とし、市民および在宅医療・介護関係者に対して情報を提供し、必要とする医療資源やサービスに繋げるなど、相談対応を行う」とあります。その実施にあたっては、これまで船橋市医師会が行ってきた医療機関情報の活用、夜間休日急病診療所、ドクターカー、医療機関連携などの地域における医療体制の整備、医師のスキルアップのための研修・講演会の開催活動などが活かされております。

また平成30年度の2月に行われました第3回船橋市在宅医療支援拠点ふなぼーと市民公開講座「地域のみんなで考える在宅療養」では上野千鶴子先生をお招きして、たいへん貴重な講演をいただき、同時に行われたミニ音楽会でも柏木広樹氏と榊原大氏にお願いして素晴らしいコンサートの開催となり、盛会に終わりました。この市民公開講座も年々充実した内容となっており、パワーアップしております。先日、行われました運営連絡調整会議会においても、ふなぼーとの主力事業内容の一つであります、在宅医療・介護に関する相談対応案件数も年度中4月～2月期ですが、平成27年度150件(半期)⇒平成28年度336件⇒平成29年度413件⇒平成30年度635件と確実に増加してきており、その内容も慢性疾患やがん疾患のご相談から最近では神経難病や小児在宅まで幅広く対応しております。その中でも複雑な内容やピックアップすべき案件に関しては月に1回行われております、ふなぼーとの小会議に報告され、きめ細やかな対応がなされております。

船橋在宅医ネット研修会も四半期に1回のペースで開催されており、多職種の多くの参加者にご参集いただき、毎回約100名前後の方々にはいらしていただいております。平成30年度は第1回南郷栄秀先生の「エビデンスに基づいてポリファーマシーを上手に解消する!」、第2回平原佐斗司先生「非がん疾患のエンドオブライフと緩和ケア～すべての人に緩和ケアの光を～」、第3回坂本壮先生「救急医のあたりまえ～在宅医にお願いしたいいくつかのこと～」、第4回中村健一先生「在宅医のための知っておくと便利な皮膚科診察のコツ」と、在宅医療だけではなく、各診療科にわたり在宅医療には欠かせない興味深い内容となっておりますので、平成31年度もお忙しいとは思いますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。このほかにも半期に1回のペースで顔の見える船橋在宅医療ネット顔合わせの楽しい会を船橋市内訪問看護ステーション・地域包括支援センターと合同で、夏・秋に行っておりますので、是非とも御参加のほどお待ちしております。

今後も「ふなぼーと」ならびに「船橋在宅医ネット」に船橋市医師会も参画し、在宅医療や地域医療の推進にまい進して参りますので、ご理解とご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。



第3回船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと市民公開講座開催



平成31年2月16日(土)に船橋市宮本公民館で市民公開講座を開催しました。事前申込者数約540名から厳正な抽選を実施し、当選された約230名の聴講者が基調講演に熱心に耳を傾け、ミニ音楽会に魅了されていました。今回で3回目になりますが、医師会の先生やスタッフ、そして行政とも連携し前回同様に関係者含めて楽しみながら、参加者に有意義な時間を過ごしていただけたと思います。第4回目も、周りの方々と責任主体で楽しみながら作り上げていければと思います。改めて、今回参加していただいた方をはじめ、関係者の皆さまにお礼申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。



平成30年度第4回船橋在宅医ネット研修会開催



『在宅医のための知っておくと便利な皮膚科診察のコツ』として、様々な皮膚疾患の症例を、ドクターケンクリニックの中村健一院長に多くの画像を用いて詳しく講義していただきました。医師をはじめとする参加者にとって非常にわかりやすく有意義な時間でした。「シミの中に悪性黒色腫(基底細胞がん)が隠れている可能性があり、シミの境界がぼやけているかそうでないかが識別のポイント」といったことをご教授いただいたり、好発年齢が1歳から6歳である「ジアノッティ症候群」等小児領域も講義に盛り込んでいただき、乳幼児から高齢者まで幅広く対応する在宅医にとって、大いに参考になったと感じました。事前質問の回答も丁寧に解説していただいたことに加えて、会場内での質疑応答でも活発な意見交換が展開されました。ちなみに参加者数は88名でした。2019年度も継続して実施する予定ですので、詳細等はふなぽーとのホームページをご覧ください！

在宅医療支援拠点ふなぽーと 相談員だより

社会福祉士/介護支援専門員 松本 淳



ふなぽーとも開設して3年半が経過しました。専門職や市民への周知は徐々に進んではいませんが、まだまだ発展途上です。私自身においても日々手探りな状況ではありますが、これからは他者と比較をせず、できることを丁寧に積んでいき、昨日の自分と比較してどの程度成長することができたかを意識して執務していきたいと思っています。そして、尊敬する医師の一人が常々仰っている「生涯現役」で自己研鑽し、「組織にとっての人財」になるよう努力していきたいと思っています。

一般社団法人船橋市医師会受託事業 船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと

〒273-8506 船橋市北本町1-16-55
船橋市保健福祉センター1階

TEL: 047-409-1736

FAX: 047-409-1912

Mail: info@funabashi-zaitaku.com

HP: <http://www.funaport.com/>

運営時間 平日午前9時～午後5時
(土日祝・年末年始はお休み)

★お気軽にお問い合わせください。

